

第8次 安城市総合計画



概要版

平成28年度(2016年度)～平成35年度(2023年度)



「幸せつながる健幸都市 安城」の実現を目指して

日本デンマークと謳われた安城市は、無謀とも言われた明治用水の開削と荒野の開墾に始まり、常に新しいものに挑戦しながら先駆的な産業組合を結成し、地域の力を結集した共同経営を進めました。そして、そこで手にした豊かさを生活文化の向上や次世代の担い手育成に注いできた先人たちのたゆまぬ努力により飛躍的な発展を遂げました。

私たちは、経済の成長により物やサービスを比較的自由に手に入れることができるようになりました。その一方で、価値観の多様化により、経済的な豊かさが必ずしも心のゆとりや生活の充実感などに比例しない時代となりました。

このような成長社会から成熟社会に向かう過程において、本市は原点に立ち返り、「市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できるまち」を基本理念に据え、長期的なまちづくりの指針である「第8次安城市総合計画」を策定しました。

本計画では、全ての施策分野に「健康」の視点を取り入れるとともに、第7次安城市総合計画で先進的に展開した「環境」への取組を継続し、歴史ある農業と製造業の牽引により築いてきた活力ある「経済」を生かし、伝統的な地域の「きずな」を継承し、次世代の担い手であり人々の笑顔を生み出す「こども」を社会全体で育むまちづくりを進めます。

また、市民に共通した「健康で、幸せでありたい」と願う想いを実現するため、戦略的かつ重点的な政策として「健幸都市推進プロジェクト」を進めます。ここでは多くの市民が自らの役割を発見し、人とのつながりや物事を達成する喜びを感じるにより、明治用水の開削や産業組合の結成にそのルーツを見る「つながる」、「支え合う」意識が再び蘇り、目指す都市像「幸せつながる健幸都市 安城」を力強く推し進めることができるものと確信します。

最後に、この計画の策定にあたりまして、アンケート調査、ディスカッションなどを通じ貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆さまをはじめ、総合計画審議会委員ならびに多くの関係者の皆さまに心からお礼を申し上げますとともに、今後も計画の実現に向けて、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

安城市長 神谷 学

目次

はじめに	1	分野別計画	11
第8次安城市総合計画の策定にあたって	2	健康 生涯にわたり心身ともに健康にすごせるまち	11
目標人口	3	環境 暮らしの質を高める持続可能なまち	11
土地利用の方針	4	経済 地域の魅力、潤いと活力あふれるまち	12
目指すべき都市像(基本理念)	5	きずな 人々が優しくつながり、支え合う安全安心なまち	13
重点戦略「健幸都市推進プロジェクト」	7	こども 子どもたちを社会で豊かに育むまち	14
		行財政運営の基本方針	14

第8次安城市総合計画の策定にあたって

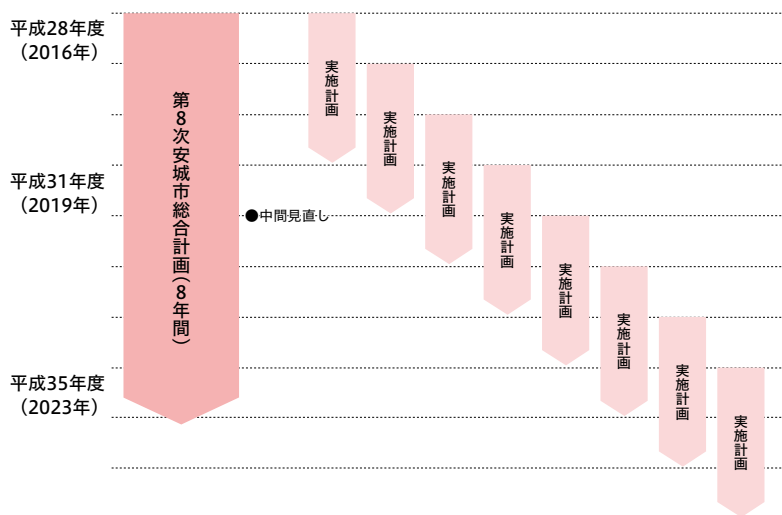
■ 位置付け

第8次安城市総合計画は、自治体経営の最上位に位置づけられる計画であり、健康や福祉、都市計画、教育、産業など、行政が携わる全分野の主要な施策の中長期的な方針を示すものです。既成の制度に基づき継続的に実施する施策及び実施手段としての事業に関する記述は、原則として関連する個別計画に委ねています。各分野で新たに策定する個別計画は、総合計画に記した方針に沿って検討します。

■ 期間

本計画の期間は、平成28年度(2016年度)から平成35年度(2023年度)までの8年間です。

これとは別に、計画に示した施策の実現にあたり、3年間で取り組む具体的な事業を記載した実施計画を毎年策定します。



■ 特徴

第1項 策定の視点

(1) 協働の視点

まちづくりは市民や町内会、NPO、ボランティア、各種団体、企業、行政など、様々な主体が協働により取り組むものです。そこで、本計画では、地域における課題の発見や解決に寄与する行政活動を取り上げ、協働によるまちづくりを促す仕組みや仕掛けについて記載します。

(2) 横断的視点

行政が取り組む施策は、当該分野の政策課題を解決するだけでなく、他の分野にも効果をもたらすことが少なくありません。例えば、公共交通は交通弱者の移動利便性を高めることはもちろん、自家用車の利用を減らし温室効果ガスの排出削減に繋がると考えられます。各施策がもたらす様々な効果を計画に示すことで、その有効性を共有します。

第2項 計画の役割

(1) 戦略型の計画

各項目の「施策が目指す姿」を実現するうえでの課題の解決や設定した成果指標の達成に大きく貢献する施策を絞り込み、本市が今後どのような取組を行うのかを分かりやすく示す戦略的な計画です。計画に記載する施策の方針は、本市が今後重点的に実施するものであり、優先的に推進します。

(2) 実効性

各項目に成果指標を設定し、計画期間における目標の達成を目指します。成果指標の達成に資する各施策は実施主体となる課が決まっており、進捗状況の管理を行いながら施策に取り組めます。

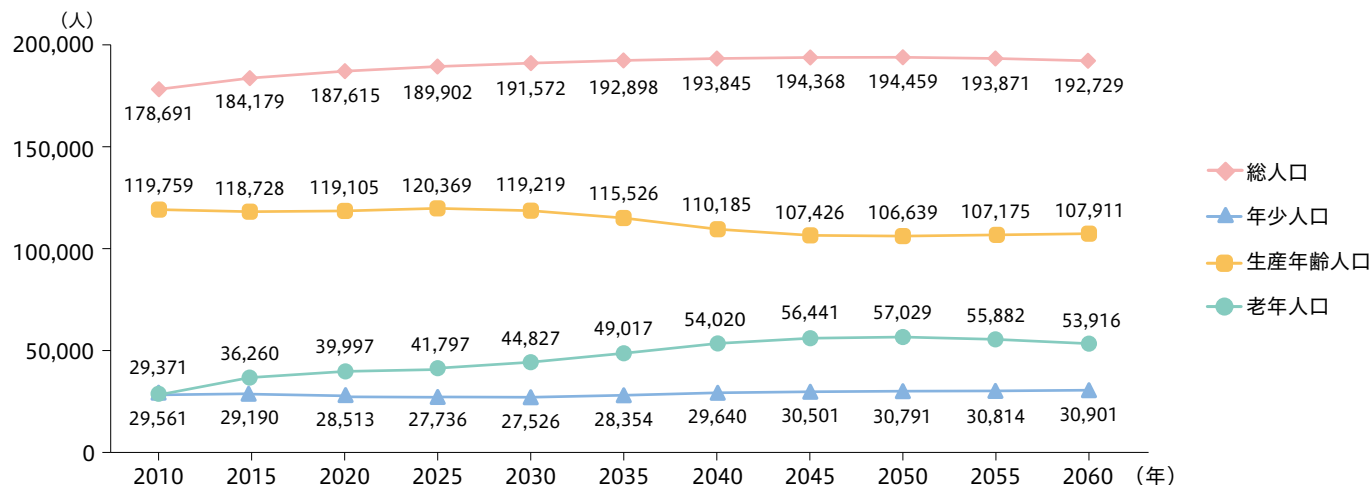
(3) 個別計画との整合性

計画は、各分野の中長期的な視点による施策の方針までを記載しています。各項目に記載した関連する個別計画を見ることで、具体的な取組について把握することができます。

■ 目標人口

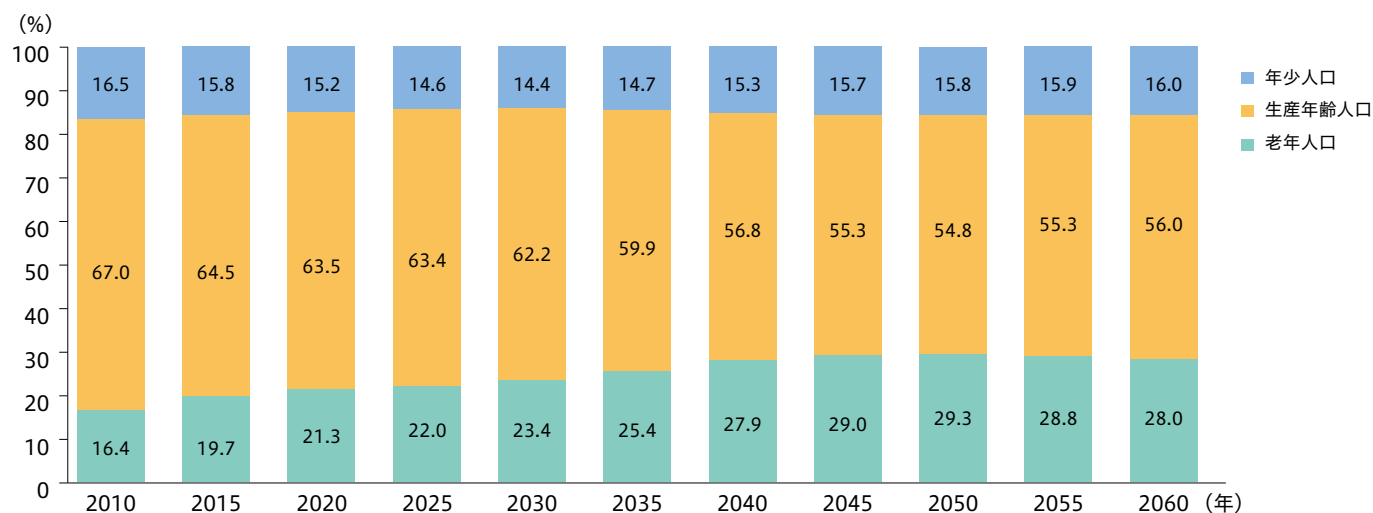
■「安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略<人口ビジョン編>」において本市が目標設定した人口は、平成62年(2050年)の19万4千人をピークとしており、本計画の期間は、緩やかな増加が継続する見込みです。

■一方、急速な少子高齢化により平成35年(2023年)では5人のうち1人が高齢者となります。また、生産年齢人口は、平成37年(2025年)がピークになる見通しにあります。よって、本計画は、今後一時的に加速する少子高齢社会、さらには、来たるべき人口減少社会に対応するための準備期間として必要な政策を精査し、戦略的に進めていくことが重要となります。



本市の目標人口“数”の見通し

※推計値は小数点以下の四捨五入の関係により、年齢階層ごとの人口の合計と総人口が一致しないことがあります。



本市の目標人口“構成”の見通し

※年少人口、生産年齢人口及び老年人口の構成比については、合計が100%にならないことがあります。

土地利用の方針

■ 4つの拠点を中心とした市街地形成

(1) 安城駅都市拠点

土地区画整理事業などにより、土地の高度利用、都市機能の再編を図り、本市の商業・業務の中心にふさわしい魅力と活力にあふれた拠点形成を進めます。

(2) 三河安城駅広域拠点

交通の要衝として、高品位なまちづくりにより都市機能の集積を促し、西三河における広域的な役割を担う拠点形成を進めます。

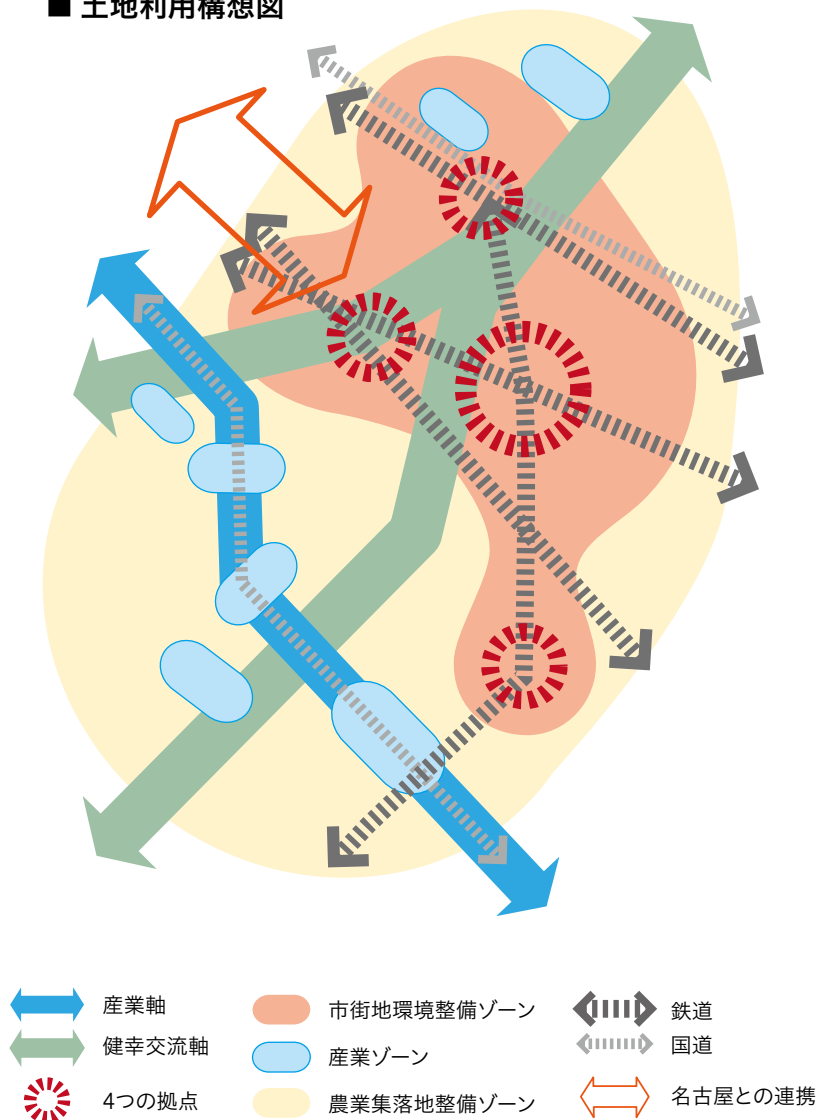
(3) 新城駅地域拠点

既存の都市機能を高め、北部地域の生活圏の中心となる魅力と個性にあふれた拠点形成を進めます。

(4) 桜井駅地域拠点

土地区画整理事業により、商業系・住居系の都市機能の集積を図り、南部地域の生活圏の中心となる拠点形成を進めます。

■ 土地利用構想図



名古屋との連携強化

リニア中央新幹線の開業を控え、高次都市機能の集積や更なるグローバル展開により拠点性の向上が予想される名古屋大都市圏の発展の受け皿を確保します。そこで、名古屋とを結ぶ鉄道及び道路アクセスの強化、企業立地及び定住人口の確保に向けた基盤整備を推進します。

優良農地の保全

優れた田園地帯を構成する農地については、無秩序な開発を抑制し保全を図り、農業先進都市として発展をしてきた歴史風景を次世代へ引き継ぎます。また、農業経営基盤の一層の強化を図るため、さらなる集約化を推進します。

健康交流軸の形成

市民の健康づくりを支援するために、中心市街地拠点施設や保健センター、広域的な公園などを核として自転車ネットワークなどで結び、市民による様々な健康行動が展開される健康交流軸を形成します。

新たな発展に向けた工業用地の計画的誘導

恵まれた地理的条件や交通体系を活用し、新たな都市の活力を生み出す工業用地の整備を進めるため、国道23号沿線を産業軸として位置付け、周辺土地利用との調和を図った計画的整備を誘導します。

目指すべき都市像（基本理念）

■ 基本理念

本市は、安定した雇用や労働条件に恵まれ、全国的に見ても豊かで安定した財政力を誇り、都市と田園のバランスが取れた快適なまちです。また、合計特殊出生率は全国平均を大きく上回り、市外からの転入人口も多く、目標人口では平成62年(2050年)までは人口は減少しないこととしています。

その一方、高齢化の波は本市にも着実に影を落としており、今後、多くの市民が老後の生活を豊かなものにするためには、健康寿命の延伸が不可欠です。さらに、医療・福祉に関する経費ができる限り本市の財政を圧迫しないように、今のうちから市民の健康づくりに力を入れていく必要があります。

また、近年の日本経済の動向は国民の実感を伴わないものになりつつあり、心のゆとり、日常の楽しみなど、人々が「豊かさ」や「幸せ」を感じる要因は多種多様な広がりを見せています。この「豊かさ」や「幸せ」を市民一人ひとりが実感できるようにすることが、成熟社会を迎えた日本において、自治体行政が担うべき最大の役割の一つと考えます。第8次安城市総合計画では、「市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できるまち」の形成をまちづくりの基本理念と位置づけます。

市民一人ひとりが生活の 豊かさとともに幸せを実感できるまち

“豊かさ”とともに“幸せ”を実感できる5つの要素「5K」

市民に最も身近な基礎自治体として、「市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できるまち」の実現に向け、「豊かさ」や「幸せ」を感じるために重要視されている事柄の中から、特に関連性が高い、「健康：Kenko」、「環境：Kankyo」、「経済：Keizai」、「きずな：Kizuna」、「こども：Kodomo」という5つのキーワードの頭文字をとった「5K」について、「豊かさ」や「幸せ」を実感できる構成要素として設定します。これらがバランス良く満たされるように、総合計画では、「5K」が深まる取組を進めていきます。

「きずな：Kizuna」、「こども：Kodomo」

という5つのキーワードの頭文字をとった「5K」について、「豊かさ」や「幸せ」を実感できる構成要素として設定します。これらがバランス良く満たされるように、総合計画では、「5K」が深まる取組を進めていきます。

健康



生涯にわたり
心身ともに健康に
すごせるまち

環境



くらしの質を
高める
持続可能なまち

経済



地域の魅力、
潤いと活力
あふれるまち

きずな



人々が優しく
つながり、支え合う
安全安心なまち

こども



子どもたちを
社会で豊かに
育むまち

■ 目指す都市像

本計画では、5つの要素のうち「健康」を軸に据え、「健幸」のまちづくりを推進していきます。

「健幸」とは市民一人ひとりが身体的・精神的に健康であることに加えて、趣味や社会貢献などの様々な活動を通じ、日々の生活に「生きがい」や「感動」を見出し、生きていることの喜びを実感することです。

自分が健康でありたい。そして、家族も健康であって欲しい。この率直な願いが、自分や家族の「幸せ」につながると気付いた瞬間に、人々は意識や行動を変えるための一歩を踏み出すことができるでしょう。

「健幸」の意識が、家族や友人、職場や地域社会に広くつながり、「幸せ」を分かち合うことへと発展することが「健幸都市」の姿です。

安城市は、すべての施策分野に「健康」の視点を取り入れるとともに、「環境」への取組を継続し、活力ある「経済」を生かし、伝統的な地域の「きずな」を継承し、社会全体で「こども」を育むまちづくりを進めることにより、「健幸都市」の実現を目指します。



幸せつながる健幸都市

安 城

市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できるまち

分野 項目	健康 Kenko	環境 Kankyo	経済 Keizai	きずな Kizuna	こども Kodomo
健康・医療	●	●	●	●	●
スポーツ	●	●	●	●	●
環 境	●	●	●	●	●
都市基盤 (住環境)	●	●	●	●	●
生活安全	●	●	●	●	●
都市基盤 (交通)	●	●	●	●	●
農 業	●	●	●	●	●
商工業	●	●	●	●	●
観 光	●	●	●	●	●
都市基盤 (市街地)	●	●	●	●	●
防災・減災	●	●	●	●	●
地域福祉	●	●	●	●	●
社会保障	●	●	●	●	●
生涯学習	●	●	●	●	●
文化・芸術	●	●	●	●	●
参加と協働	●	●	●	●	●
子育て	●	●	●	●	●
学校教育	●	●	●	●	●
行財政運営					

関連する施策がある分野：●●●●● / 継続して推進する分野など：●

重点戦略「健幸都市推進プロジェクト」

「健康であり、幸せでありたい。」これはすべての市民に共通した基本的な願いであると考えます。

本プロジェクトは、市民に身近な行政としてこれをどのように実現するか、その道筋と方法を示すものです。

プロジェクトの目的や内容を明示するとともに施策など

を効率的に推進するため、3つのサブプロジェクトに分けて進めることとします。具体的には、幸せを構成する「5K」のうち「健康」を軸に据え、これに関連する施策・事業の重点化を図ります。

健幸プロジェクト

1 きっかけづくり

1 知りたくなる機会

健康に関する情報をできる限り多くの人々が取得しやすくするため、「知りたくなる機会」の充実を図ります。

- ・健康づくりに関するフォーラムや講座の開催
- ・図書情報館のICT機能を活用した健康情報へのアクセス性の向上
- ・スポーツ、生涯学習、文化・芸術など様々な分野から健康に関する情報を一元化して提供

2 参加したくなる機会

健康に関心の低い人や意識があっても行動できない人々が健康づくりに取り組めるよう「参加したくなる機会」の充実を図ります。

- ・歴史スポットなどを巡るウォーキングイベントの開催
- ・東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地の誘致及び関連したイベントの開催
- ・企業との連携やスポーツ推進員などとの協働強化によるスポーツの推進やラジオ体操の普及

スポーツ
観戦



健康
フォーラム



一流選手
との交流



ウォーキング
イベント



サイクリング
イベント



1 医療・健診・介護データの活用

科学的根拠に基づいた確かな健康づくり施策を展開するため、市民の「医療・健診・介護データ」を集約し分析する仕組みを構築します。

- ・市が運営する国民健康保険、健康保険者、医師会の協力で保健事業を共同で推進
- ・市民全体の健康状態や疾病傾向の分析を行い、健康づくり施策へ反映

2 行動変容を後押しする制度

健康づくりへの取組が生活習慣として定着するよう、市民が自らの意思で行動を変えていくことを促す制度の拡充を図ります。

- ・健康づくり活動のポイント制度の構築及び推進
- ・健康に配慮した商品化など特産農産物を活用し、6次産業化への取組を支援
- ・「健幸都市」に相応しい先進市のまちづくりの手法について調査研究

3 地域で支える健康づくり

誰もが住み慣れた地域でいつまでも自立した生活を送ることができるように、「地域で支える健康づくり」の仕組みを構築します。

- ・健康づくり活動を主体的に行う人材を育成し、活躍の場を創出
- ・グループで楽しみながら健康づくりを推進する仕掛けを構築
- ・いつまでも地域で生活できるように「安城市版地域包括ケアシステム」を構築

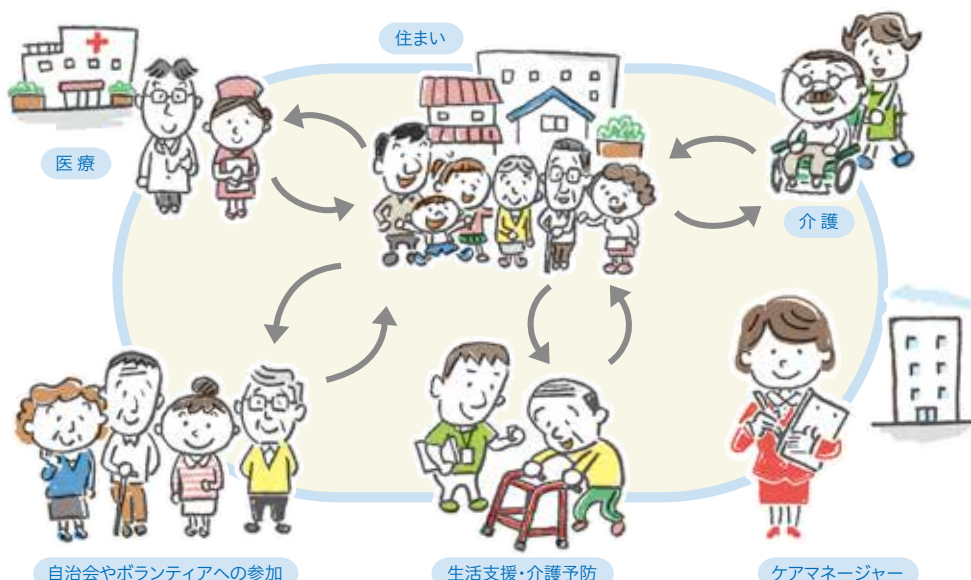
医療・健診・介護データの活用



健康ステーション



地域包括ケアシステムイメージ



1 魅力あるまちづくり

都市機能の充実を図るとともに、地域の特性を反映した個性ある拠点づくりを進め、市民が愛着と誇りを持って暮らすことができる魅力あるまちづくりを進めます。

- ・JR安城駅周辺：歩いて買物に行ける商業機能の集積を図るとともに、民間共同住宅の建設助成により人口増加を推進
- ・JR三河安城駅周辺：新たに歩いて暮らせる住宅市街地の整備及び商業・業務機能の集積を促進
- ・名鉄新安城駅周辺：歴史・自然・人・産業の調和など、テーマ性のあるまちづくりを調査研究
- ・名鉄桜井駅周辺：歴史文化の感じられる、うるおいのある住みやすい住環境の整備を推進

3 移動利便性の向上

市の外縁部から各拠点（JR安城駅周辺、JR三河安城駅周辺、名鉄新安城駅周辺及び名鉄桜井駅周辺）への移動及び各拠点間の移動をしやすいするため、公共交通機関などの移動手段の利便性を高めます。

- ・幹線道路の整備を推進し、市街地の歩行快適性の向上
- ・超小型電気自動車を活用したカーシェアリングの社会実験
- ・名鉄新安城駅の橋上化・自由通路整備及び名鉄南安城駅のバリアフリー化を促進
- ・あんくるバスの運行ダイヤ及び待合環境を改善
- ・自転車走行空間整備により自転車ネットワークを拡大

2 健康づくりインフラの整備

市民が日常生活の中で、車に頼らず移動することを促すため、「歩く・走る・こぐ」のに快適な環境を整備します。

- ・健康づくりに取り組む人を増やすため、身近な地域にウォーキング・ランニングコースを設定
- ・油ヶ淵水辺公園からデンパークまで、及び本證寺境内などの散策ルートを整備、拡大
- ・駅や公共施設などへのアクセス性向上のため、歩行者自転車の安全な歩行走行空間を整備
- ・ポケットパークなどにストレッチ運動ができる遊具やベンチを設置し、気軽に運動に取り組める環境を整備
- ・国際試合が開催できるようソフトボール場を改修し、体育館などのスポーツ施設を改修

4 まちの賑わい創出モデル

「歩きたくなるまち」のモデルとして、中心市街地に絶えず人が集まって交流し、回遊するような状態を創り出すため、拠点施設を整備するとともに、コミュニティデザインによるまちづくりと歩いて楽しいまちづくりを推進します。

【中心市街地拠点施設】

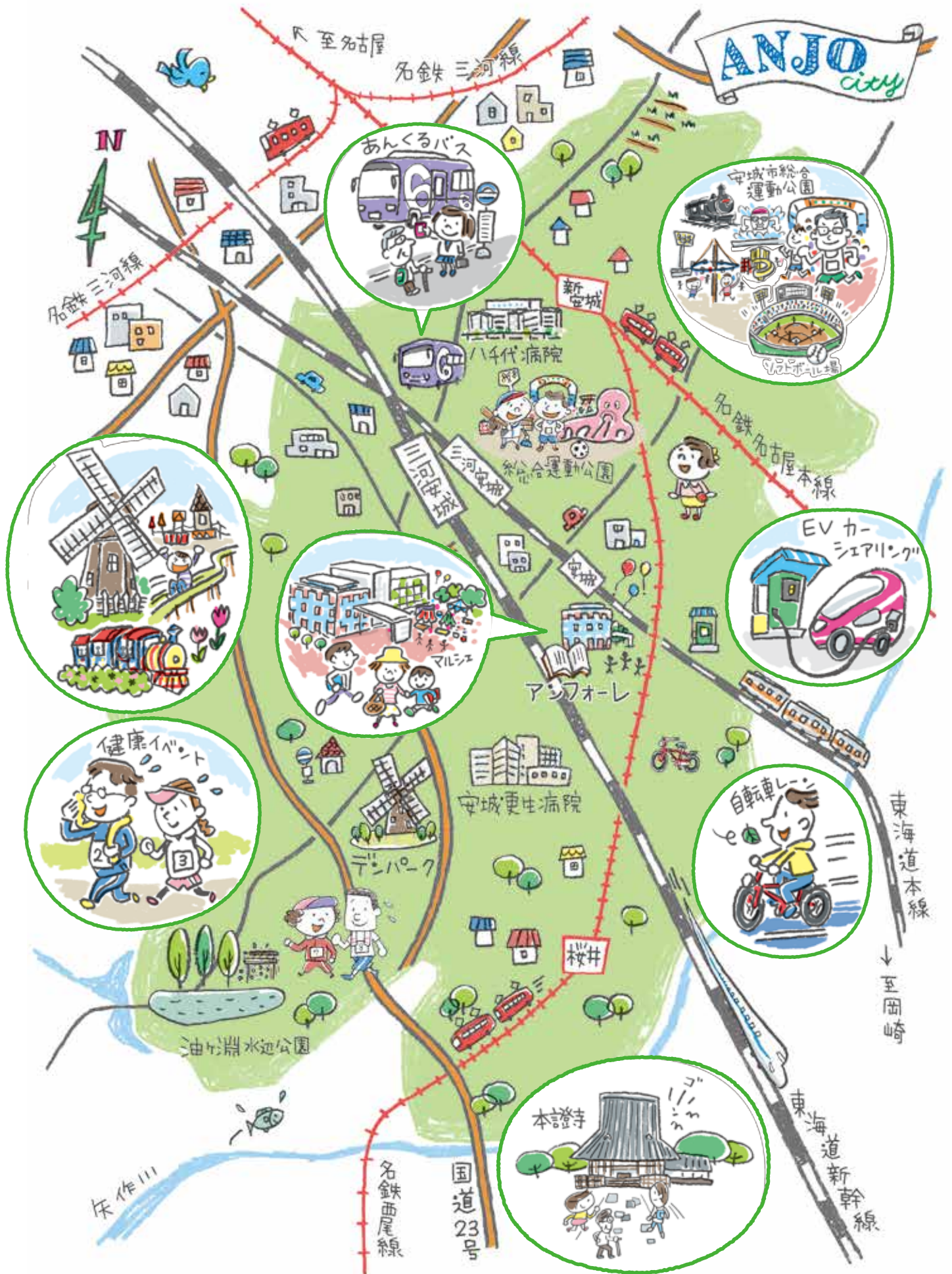
- ・地産地消、食育の推進を図るため、産直市（マルシェ）の開催
- ・まちなかの賑わい創出のため、広域的に集客できるイベントの定期的開催

【コミュニティデザイン】

- ・様々な団体が連携し、中心市街地拠点施設を核とした継続的なまちづくりが実施されるよう支援

【歩いて楽しいまち】

- ・新美南吉や七夕まつりなど、地域に根ざしたテーマをモチーフとした景観やポケットパークの整備
- ・水と緑を生かしたコミュニティ道路として、歩行者や自転車への安全性を確保する「追田川プロムナード」を整備



分野別計画



健康 | 生涯にわたり心身ともに健康にすごせるまち

高齢化社会の進行により、身体の不具合を抱える人や要介護者が増加し、また、複雑化する社会の中で心の病を抱える人も存在します。健康と幸福感には深い相関関係がみられ、特にこれからの長寿社会において、多くの市民が自由で自立した人生を歩むために、健康寿命延伸の視点が必要です。

1. 健康・医療



施策が目指す姿

地域全体で健康への意識が高まり、一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組める環境整備を進めることにより、市民の健康寿命の延伸を目指します。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	目標値(2023年度)
健康であると 感じている人の割合	70.7% (2012年度)	75%
1日に30分以上歩く人の 割合	49.8%	54%
BMIが標準の人の割合	68.5% (2014年度)	73%

2. スポーツ



施策が目指す姿

「する」「みる」「おしえる」「ささえる」の様々な立場からスポーツに親しみ関わるができる環境の充実を図り、スポーツを通じて健康で活力あるくらしができるまちを目指します。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	目標値(2023年度)
成人の週1回以上の スポーツ実施率	45.1%	52%
市主催スポーツ事業 参加者数(単年度)	87,672人 (2014年度)	115,000人
市スポーツ施設 利用者数(単年度)	1,137,343人 (2014年度)	1,500,000人



環境 | くらしの質を高める持続可能なまち

「環境首都・安城」では、地球的な視点に立ち、自然環境のみならず、生活環境、都市環境など身近なくらしを取り巻く環境への取組を市民とともに進めてきました。省エネなどの技術開発が進む中、都市と田園が共生する本市にふさわしい一歩進んだ環境首都の成熟した展開が必要です。

3. 環境



施策が目指す姿

市民一人ひとりが、低炭素化・自然との共生・資源循環など環境に対する高い意識を学びや協働を通じて育むとともに、それぞれの立場で環境配慮行動に積極的に取り組むことにより、環境負荷の少ない、人と自然が共生する良好な環境が持続的に発展する社会を目指します。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	目標値(2023年度)
1人1日あたり家庭用 電気使用量(kWh)	5.56kWh (2014年度)	5.42kWh
一般廃棄物の再生利用 率(リサイクル率)	24.2% (2013年度)	26%

4. 都市基盤(住環境)



施策が目指す姿

市民に愛される公園整備を通じ、自然と人がふれあうまちづくりを目指します。
良好な水環境による安全で快適な暮らしの実現を目指します。
暮らしやすさを実感し、安心して住み続けられるまちづくりを目指します。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	目標値(2023年度)
住環境に対する満足度	32%	40%
公園の更新数(累計)	—	長寿命化29箇所 リニューアル7箇所
適切に管理されていない 戸建住宅の空き物件数 (累計)	82件 (2014年度)	32件

5. 生活安全



施策が目指す姿

市民・行政が一体となり、犯罪や交通事故の発生件数を減少するための取組をし、安全で安心なまちづくりを目指します。消費者トラブルからの早期救済・未然防止を図り、安心な消費生活の実現を目指します。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	目標値(2023年度)
犯罪発生件数(単年)	1,717件 (2015年)	1,540件
人身事故発生件数(単年)	1,069件 (2015年)	960件
消費生活における問題を相談できる体制が整っていると思う人の割合	14.5%	50%

6. 都市基盤(交通)



施策が目指す姿

市民の移動手段として健康的で環境にやさしい鉄道、バス、自転車などの様々な有機的なネットワークの形成を目指します。渋滞がなく、円滑な移動に必要な道路網の充実を目指します。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	目標値(2023年度)
公共交通機関に対する満足度	49.4%	58%
都市計画道路整備率	81.4% (2014年度)	85.4%
公共交通機関利用率	9.7% (2011年度)	11%



経 済 | 地域の魅力、潤いと活力あふれるまち

歴史ある農業の誇り、農産物の恵みとともに、自動車産業を中心とした製造業の牽引により築いてきた豊かな経済は紛れもない本市の強みです。健全な労働で得られる潤いあるくらしは人々の幸福感につながり、多様な産業の創出に加え、歴史文化など地域の魅力を生かす必要があります。

7. 農業



施策が目指す姿

安全・安心な食料が安定的に供給されるよう農地や農業用施設の整備並びに保全を図るとともに、効率的かつ安定的に経営できる農業経営者を育成することにより、農業の持続的発展を目指します。
地産地消や食育の推進、農との触れ合いにより、市民一人ひとりが生涯にわたり、心身ともに健やかな生活を送ることを目指します。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	目標値(2023年度)
農地の利用権などの設定率	52% (2014年度)	66%
地元農産物を意識して購入する人の割合	21.9% (2014年度)	26%

8. 商工業



施策が目指す姿

ものづくり産業の高度化と新規産業の創出、魅力ある商業集積の形成など、商工業バランスのとれた発展を図ることにより、市内経済の活性化と豊かで潤いのある市民生活の実現を目指します。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	目標値(2023年度)
都市計画法における地区計画(工業団地)の面積(累計)	49.8ha (2014年度)	69.8ha
中心市街地歩行者通行量(平日1日あたり)	3,366人 (2014年度)	4,000人
創業者数(単年度)	81人 (2013年度)	97人

9. 観光



施策が目指す姿

観光資源を最大限活用し、本市の魅力を向上させるとともに、四季折々の観光情報を発信することにより観光入込客数の増加を目指します。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	目標値(2023年度)
観光施設やイベントにおける観光入込客数(単年度)	227万人 (2014年度)	270万人

10. 都市基盤(市街地)



施策が目指す姿

JR 安城駅周辺を都市拠点、JR 三河安城駅周辺を広域拠点、名鉄新安城駅周辺・名鉄桜井駅周辺を地域拠点とし、各地区の特性に応じた個性的な魅力ある拠点の形成を目指します。
各拠点を中心とした都市基盤整備により、人々が集い交流するコンパクトシティ型都市構造の形成を目指します。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	目標値(2023年度)
中心市街地拠点施設入館者数(単年度)	—	100万人
市街化区域内における土地区画整理事業による整備率	47.7% (2014年度)	50.3%
DID区域内人口(累計)	119,934人 (2010年度)	130,000人



きずな | 人々が優しくつながり、支え合う安全安心なまち

人と人がつながるきずなや地域コミュニティの活性化は、持続可能な社会福祉の根幹であるとともに、非常時を乗り切る力になることが東日本大震災で証明されました。本市にみられる三世代のきずな、地域や市民活動を通じた優しいつながりを大切に後世につないでいくことが必要です。

11. 防災・減災



施策が目指す姿

市民の生命や財産を守るため、地震や風水害など様々な自然災害や致死性の高い感染症の発生に備え、自助力・共助力・公助力を向上させ、総合防災力の強化による安全安心なまちづくりを目指します。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	目標値(2023年度)
防災・減災対策に対する満足度	53.3%	60%
住宅の耐震化率	83% (2014年度)	95%
雨水貯留施設の貯水容量(累計)	37,078m ³ (2014年度)	87,200m ³

12. 地域福祉



施策が目指す姿

町内福祉委員会などによる地域住民主体の助け合い活動を市内全域に広げ、医療・介護・福祉などの専門職が連携してサポートする「安城市版地域包括ケアシステム」を構築することにより、住み慣れた地域でいつでも安心して、健康で自立した生活を送ることができるまちを目指します。
また、地域福祉の活性化により、社会福祉や社会保障制度を健全に保ちます。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	目標値(2023年度)
地域見守り活動の実施 町内福祉委員会数(累計)	48委員会 (2014年度)	75委員会
地域包括支援センターの 設置数(累計)	— 地域2箇所 (2014年度)	基幹1箇所 地域8箇所
地域ケア個別会議の 開催回数(単年度)	26回 (2014年度)	240回

13. 社会保障



施策が目指す姿

社会保険及び社会福祉の各分野別計画を策定して、調和の取れた社会保障制度を構築することにより、すべての市民が健康で文化的な生活を、生涯にわたって生きがいを持って営めるまちを目指します。

※公衆衛生については「健康・医療」の分野に、社会福祉の児童福祉については「子育て」の分野に記載されています。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	策定時の値(2023年度)
障害者への福祉が充実していると 感じている人の割合	30.2%	35%
地域生活支援拠点等の 設置数(累計)	—	1箇所
「総合事業」を実施する 町内福祉委員会数(累計)	—	75委員会

14. 生涯学習



施策が目指す姿

市民のだれもが、いつでもどこでも生涯を通じて、自分らしく主体的に生涯学習に関わることができ、人や地域との絆を深めるとともに、新たな価値観や行動を生み出し、人とまちの明日を創る生涯学習環境を目指します。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	目標値(2023年度)
生涯学習に対する満足度	53.8%	62%
生涯学習講座・教室の 受講者数(単年度)	12,224人 (2013年度)	14,800人
市民1人あたりの 図書年間貸出冊数(単年度)	10.1冊 (2014年度)	12冊
図書館等の実利用者数 (単年度)	30,392人 (2014年度)	36,000人

15. 文化・芸術



施策が目指す姿

歴史資源の保存と有効な活用や普及啓発活動を通じて、歴史に根ざしたまちづくりを推進することで、市民に憩いの場と歴史に触れる機会を提供し、郷土愛の醸成を目指します。

文化芸術団体が創造豊かな活動を展開し、優れた芸術鑑賞の機会を充実することにより、広く市民が文化芸術活動に親しめる環境づくりを目指します。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	目標値(2023年度)
歴史・文化に愛着や誇りを感じ ている人の割合	38.3%	46%
文化財関係事業参加者数及び 歴史博物館入館者数(単年度)	64,201人 (2014年度)	70,000人
文化芸術関係事業参加者数及び 市民ギャラリー入館者数(単年度)	74,699人 (2014年度)	88,000人

16. 参加と協働



施策が目指す姿

ボランティア活動などの社会貢献と健康長寿には深い関係性があると考えられます。市民が心身ともに幸せに暮らし続けることができるように、地域コミュニティの活性化を図るとともに、情報の共有が確立された協働によるまちづくりを目指します。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	目標値(2023年度)
市民参加・市民活動支援に 対する満足度	25.9%	38%
コミュニティ活動推進施策に 対する満足度	41.1%	47%
市民活動センター登録 団体数(単年度)	327団体	430団体



こども | 子どもたちを社会で豊かに育むまち

子どもは次世代の担い手であり、人々の笑顔を生む不思議な力があります。健やかな成長には、子ども自身が生きる力を育むこと、家庭だけではなく社会全体で子どもを育てる視点が欠かせません。子どもの様子は健全な社会のバロメーターであり、その成長を温かいまなざしで支えていく必要があります。

17. 子育て



施策が目指す姿

安心して妊娠・出産を迎えることができ、子育ての主役である保護者が喜びと安心の中で子育てができるよう、地域社会で子どもの健やかな成長を見守り、子育てを担う保護者を支えることのできるまちづくりを目指します。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	目標値(2023年度)
児童クラブの学年拡大	小学1～3年生 21校	小学1～6年生 21校
ひとり親家庭福祉に対する満足度	28%	32%

18. 学校教育



施策が目指す姿

自ら学び自ら考え、自ら判断し行動する力を育てる質の高い教育活動により、次世代を担う児童生徒の知・徳・体の調和のとれた人づくりを目指します。児童生徒一人ひとりを大切にしたきめ細やかな教育の体制づくりを進め、安全安心で快適な教育環境を創出します。

■ 成果指標

指 標	策定時の値(2015年度)	目標値(2023年度)
授業は楽しく わかりやすいと答える 児童生徒の割合	各学校 80%以上 (2014年度)	各学校 90%以上
タブレット端末などICT (情報通信技術)機器の 学び合いでの活用状況	—	1学級あたり 10回/月

行財政運営の基本方針

第8次安城市総合計画に掲げた政策・施策の推進、様々な行政活動の実施や市民サービスの提供にあたり、以下の考え方を基に取り組みます。

■ 効率的な行財政運営

■ 多様な主体との連携・協働

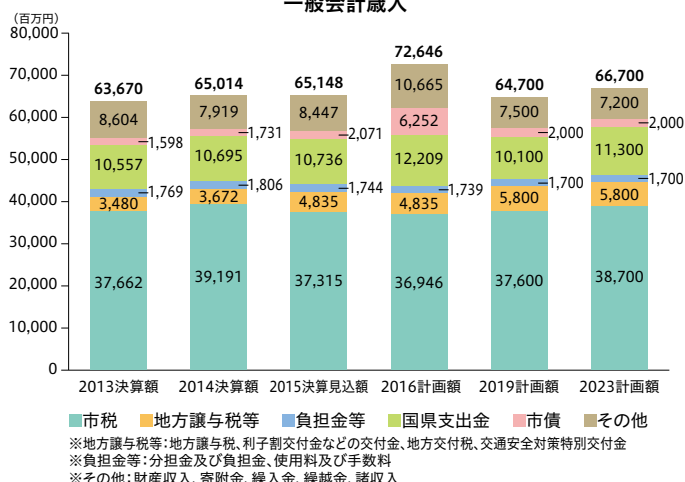
■ 市民の要請に応える職員の育成

■ 市民一人ひとりに向き合う電子自治体

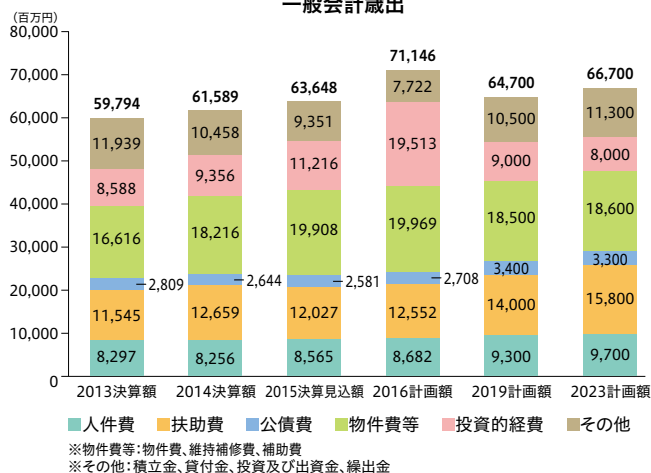
■ 公有財産の適正な管理運用

■ 自立した行政経営に基づく広域的な連携

一般会計歳入



一般会計歳出



安 城 市 民 憲 章

わたくしたちは安城市民です。

わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた生きがいのあるまちにするため、
市民生活の心がまえとして、この憲章を定めます。

わたくしたちは、

＊たがいに助けあい、住みよいまちをつくりましょう。

＊きまりを守り、良い習慣を育てましょう。

＊自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。

＊教養を高め、若い力を育てましょう。

＊健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

第8次安城市総合計画

平成28年度(2016年度)～平成35年度(2023年度)

発 行 安城市
愛知県安城市桜町18番23号
デザイン・編集 レンズアソシエイツ



この印刷物は古紙パルプを含む紙を使用しています。